２人の海外旅行とトレッキング

平成２６年（２０１４年）５月２９日～６月７日
北欧フィヨルド３カ国周遊の旅１０日間

今回の旅の目玉は「観光船によるﾌｨﾖﾙﾄﾞ観光」と、ノルウェイからデンマークへの移動が、大型豪華客船での１泊２日の船旅であることだった。その間３国それぞれの優れた街々の景観で楽しませてもらった旅ともなった。

１国目：スウェーデン（２日目～３

【観光のポイント】
２日目：ストックホルムの市内観光（市庁舎・王宮・ガムラスタン）
３日目：ストックホルム郊外に佇む世界遺産『ドロットニングホルム宮殿観光　午後は自由行動。

２日目

ドーハ空港で乗り継ぎ。

ストックホルム市街地が一望できる展望台。

街角で出合ったお祭り風景。

この広場では毎日のように何かがあるらしい。

由緒ある建造物の市庁舎だったかな？

ストックホルムの中でも、ガムラスタンと呼ばれる旧市街地には観光ポイントが集中しており、観光の中心となる。

３日目午前は世界遺産”ドロットホルム宮殿観光

ドロットニングホルム王宮では衛兵の規律正しい見回りや、日に１回華やかな大勢の衛兵交代が行われるらしいが、今回は時間が合わなかった模様。

３日目午後は自由行動

偶然出くわしたマラソン大会の様子

古い民家の建物が肩を並べて建ち並ぶ旧市街地

ノーベル博物館に立ち寄り

管内では過去の受賞者の経歴や受賞内容がたくさん飾られていた。名物のサイン入りの椅子もあった。

管内ではいろいろなお土産も売っていたが、ここで買ったのはメダル風の堅いチョコレート 10 枚入り？ 2 缶。

２国目：ノルウェイ（４日目～７日目）

【観光のポイント】

４日目：早朝ストックホルム駅⇒ノルウェイのオスロ着後オスロ市内観光。
・国立美術館・"叫び"が描かれたと言われるポイント・オペラハウス屋上よりみるオスロフィヨルドの景観⇒ラスタ

５日目：ラスタ⇒ソグネフィヨルド地区へバス移動
ボルグンスタール教会観光

６日目：今回のメイン観光『クルーズ船によるフィヨルド観光』
クルーズ船に乗車後、"ソグネフィヨルドのカウンベル⇒グドヴァンゲル間を往復（約２時間）
下船後バスでフロムへ向かう。途中、〈絶景ポイント〉氷河が大地を削りとって生まれた"スタルハイム渓谷"を観光。午後、フロム山岳鉄道と、ベンゲル鉄道を乗り継ぎ、ヴォスへ。その後、ハダンゲルフィヨルド地区へ移動。

７日目：ホテル⇒オスロへ向かう。途中、迫力満点のヴォーリングフォスの滝を観光。昼食後オスロの港へ。明日のデンマーク入りは、１泊２日の大型観光客船 "DFDS シーウェイズ"での移動。

４日目

ストックホルム駅

ストックホルムの今日の気象予報

４日目朝食弁当持参でオスロ行きの列車に乗り込みオスロへ移動。午後はオスロ市内観光。

この専用観光バスでオスロ市内観光

国立美術館で美術鑑賞

国立美術館に展示されていた絵画の数々。日本では写真撮影はまず無理だが、海外ではそういう美術館は少ない感じ。

オペラハウスの屋上よりオスロフィヨルドの景観を眺める。

前に望める水域がオスロフィヨルドらしいが、フィヨルドも海に近くなるとフィヨルドの感じがない。それでも水深はかなり深いらしい。

オペラハウスの屋上で

３日先の７日目に、ここノルウェイからデンマークへ移動時に「１泊２日の船旅」として乗船する豪華な大型客船が通過して行く。
周りの船と比べるとその大きさが凄い！

市街地が一望できる小高い場所へやってきた。

ここが「叫び」の絵の場所とされる丘とのこと。
ゴッホの絵のようにはほっぺはへこまんかった。

５日目 ラスタ⇒ソグネフィヨルド地区へバス移動し、ボルグンスタール教会観光

今日はこのバスで。

車窓からの眺めも飽きることはない。

途中、昼食休憩に立ち寄ったレストラン。

周辺には心休まる花や風景も・・・。

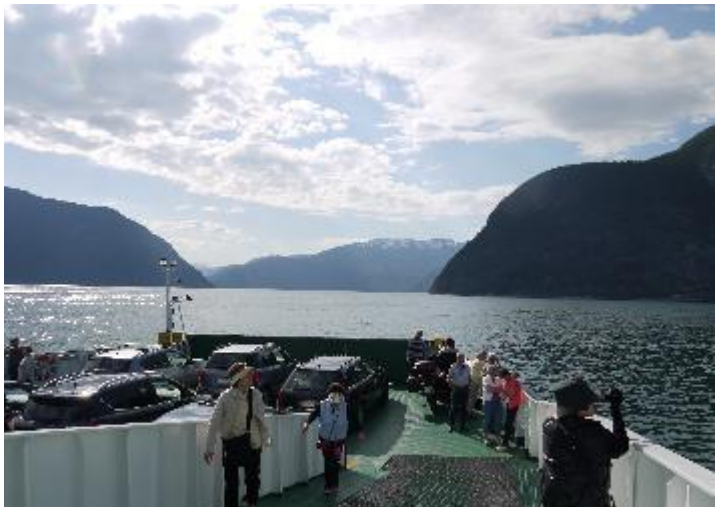
さらに移動中に楽しませてくれた湖や残雪風景。

ボルグンドに到着。

ボルグンスターブ教会を観光　　独特な木造の教会が建っていた。

なにか心がほっとするような場所。

６日目　ソグネフィヨルドクルーズ船観光（カウバルゲン～グドヴァンゲン間往復）⇒氷河が大地を削り取って生まれたスタルハイム渓谷⇒フロム山岳鉄道とベルゲン鉄道を乗り継ぎヴォスを経てハダンゲルフィヨルド地区へ。



バスごと乗船完了。さあ約２時間待望のフィヨルド観光だ。

たしかに湖でもなく、大きな川でもない独特の雰囲気がする光景をしばらく満喫していこう。

撮ってくれたのはツアーの添乗員さんかな？
乗船記念のスナップ写真。

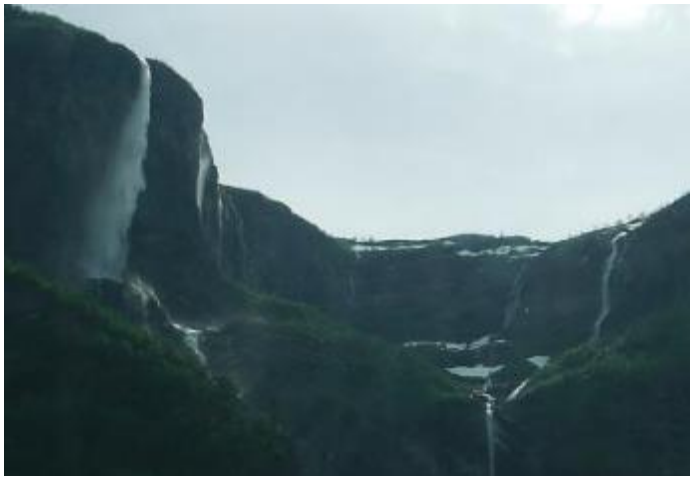
船上からうつり替わる北欧の風景も美しい。

ナイスショット！

全長２０４ｋｍの世界最長。このあたりの両岸の幅は２５０ｍくらいと最も狭く、最深部は１３０８ｍとの説明に驚く。

小型のクルーズ船とすれ違い。

このあたりが最奥部、Ｕターンして往路を引き返す。



復路は往路とはまた違った（見過ごしていた）右岸・左岸に広がる景色も楽しいもの。

スタルハイム渓谷に立ち寄る

下船後、フロムへの移動途中に立ち寄ったスタルハイム渓谷の絶景ポイントへ。
この渓谷は、長い年月をかけて大地を氷河が削り取ってできた渓谷とのこと。かつてはこの渓谷も氷河で埋まっていたことだろう。

眼下に望むＵ字型の谷は氷河の跡がよくわかる。

その後、フロム山岳鉄道と、ベルゲン鉄道を乗り継ぎヴォスへ向かうが、途中「ショース滝の駅」で一旦下車、滝見物時間がとられているのを楽しみに出発。

フロム駅で乗車、途中断崖から流れ落ちる多くの滝風景も眺めながら進む。

フロム山岳鉄道の途中駅「ヒョース滝の駅」で一時停車。ホームへの下車による滝の観光時間が組まれていた。
凄い迫力。見える部分の落差は９５ｍだそうだが、全体落差は２２５ｍだという。

写真では写っていないが、滝の上部で「妖精」と呼ばれている女性が身振り手振りを交えながら踊っている姿が見えた。列車ダイヤに合わせて出没するらしい。（〇印のあたり）

ミュールダール駅でフロム山岳鉄道からベルゲン鉄道に乗り換えヴォスへ向かう。

ヴォスでベルゲン鉄道を降り、ハダンゲルフィヨルド地区へ　途中、なかなか洒落た細工の看板も見かけた。

ハダンゲルフィヨルド地区までのコースは、のどかな牧草地帯やフィヨルドの眺められるコースも走り、変化の多い車窓の景色を楽しませてくれる。

この地方の人たちはどうやらモニュメントづくりが好きらしい。いろいろなものが見受けられた。

７日目　午前は泊直満点？のヴォーリングフォスの滝観光。昼食後オスロの港へ。

ここがノルウェイ最大の「ヴォ―リングフォスの滝」
水源は上流からの河川水でなく、崖の途中から噴き出している地下水のように見える。
大きな二つの滝がひとつの滝つぼへ落ちてゆく滝も珍しい。

７日目　夕方からデンマークへの移動となる１泊２日の船旅

大型客船 DFDS シーウェイズに乗船だ。

ドライバーさん　お世話になりました。

３国目：デンマーク（８日目～１

【観光のポイント】
８日目：コペンハーゲン入港下船後、コペンハーゲン市内観光
・アマリエオンボー宮殿・人魚姫の像・ニューハウン地区・ロイヤルコペンハーゲン本店
・午後は自由行動
９日目： 帰国準備
・午前は自由行動、昼食後空港へ向かう。
・15:55　カタール航空でコペンハーゲン発
10 日目：ドーハ空港乗り継ぎで夕方関空着。

８日目　コペンハーゲン市内観光

旅の最後となったホテルから眺めた夕日と早朝の様子

アマリエンボー宮殿周辺の写真

広場中央にはこの宮殿の造営者フレデリック５世の騎馬像が。

人魚姫の像 周辺の写真

ニュータウン地区

にぎやかな広場に出てきたが・・・。

どこへ行ったらいいのかな？　わからん時は聞いてみよ。通じたのかな？

まずはロイヤルコペンハーゲン本店へ

ニューハウンの風景

以下はデンマーク コペンハーゲン散策（自由行動）の写真
詳細不明

おしまい　　この後帰国の途へ